



IBJ* 防除情報

第81号

(*Ishihara Bioscience Japan=石原バイオサイエンスの略)

石原の農薬登録情報



- 2018年2月24日～3月26日までの間に登録された弊社の新農薬（適用拡大を含む）は、次の通りです。（下線部が適用拡大になりました。）

2月28日 適用拡大

フロンサイド水和剤

<総使用回数の変更>

- ・作物名「ばれいしょ」のフルアジナムを含む農薬の総使用回数を「6回以内(種いも浸漬は1回以内、植付前の土壌混和は1回以内、散布は4回以内)」から「6回以内(種いも浸漬は1回以内、植付前の土壌混和及び植付時の植溝散布は合計1回以内、植付後の散布は4回以内)」へ変更する。

作物名	適用病害名	希釈倍数	10アール当り 使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルアジナムを含む 農薬の総使用回数
ばれいしょ	菌核病 疫病	1,000～2,000倍	100～300L	収穫14日前まで	4回以内	散布	<u>6回以内</u> （種いも浸漬は1回以内、 植付前の土壌混和および 植付時の植溝散布は合計 1回以内、植付後の散布は 4回以内）
	疫病	500倍	25L				
		800倍	40L				
	夏疫病	2,000倍	100～300L				
	そうか病	100倍	—	植付前	1回	種いも瞬間浸漬	

作物名	適用病害名	10アール当り使用量		使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルアジナムを含む 農薬の総使用回数
		薬量	希釈水量				
ばれいしょ	粉状そうか病 塊茎褐色輪紋病	600g	100L	植付前	1回	全面散布 土壌混和	<u>6回以内</u> （種いも浸漬は1回以内、 植付前の土壌混和および 植付時の植溝散布は合計 1回以内、植付後の散布は 4回以内）

2月28日 適用拡大
フロンサイドSC

<薬量の追加>

・作物名「ばれいしょ」適用病害虫名「粉状そうか病」に、薬量「400ml/10a」を追加する。

<適用病害虫名・使用方法の追加>

・作物名「ばれいしょ」適用病害虫名「粉状そうか病」に、使用方法「植溝散布」を追加する。

・作物名「ばれいしょ」に、適用病害虫名「そうか病」、使用方法「植溝散布」を追加する。

<総使用回数の変更>

・作物名「ばれいしょ」のフルアジナムを含む農薬の総使用回数を「6回以内(種いも浸漬は1回以内、植付前の土壌混和は1回以内、散布は4回以内)」から「6回以内(種いも浸漬は1回以内、植付前の土壌混和及び植付時の植溝散布は合計1回以内、植付後の散布は4回以内)」へ変更する。

<適用病害虫名の追加>

・作物名「小麦」に適用病害虫名「縞萎縮病」を追加する。

作物名	適用病害名	希釈倍数	10アール当り 使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルアジナムを含む 農薬の総使用回数
ばれいしょ	疫病	500倍	25L	収穫7日前まで	4回以内	散布	6回以内 (種いも浸漬は1回以内、 植付前の土壌混和および 植付時の植溝散布は合計 1回以内、植付後の散布は 4回以内)
		1,000～2,000倍	100～300L				
	菌核病	1,000倍					
	夏疫病	2,000倍					
	そうか病	100倍	—	植付前	1回	種いも瞬間浸漬	

作物名	適用病害名	10アール当り使用量		使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルアジナムを含む 農薬の総使用回数
		薬量	希釈水量				
ばれいしょ	粉状そうか病	400～600mL	100～200L	植付前	1回	全面散布 土壌混和	6回以内 (種いも浸漬は1回以内、 植付前の土壌混和および 植付時の植溝散布は合計 1回以内、植付後の散布は 4回以内)
	粉状そうか病 そうか病	200mL	20L	植付時		植溝散布	
小麦	縞萎縮病	600mL	100L	は種前	1回	全面散布 土壌混和	3回以内 (は種前は1回以内、 は種後は2回以内)

2月28日 適用拡大
フロンサイド粉剤

<総使用回数の変更>

- ・作物名「ばれいしょ」のフルアジナムを含む農薬の総使用回数を「6回以内(種いも浸漬は1回以内、植付前の土壌混和は1回以内、散布は4回以内)」から「6回以内(種いも浸漬は1回以内、植付前の土壌混和及び植付時の植溝散布は合計1回以内、植付後の散布は4回以内)」へ変更する。

作物名	適用病害名	10アール当り 使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルアジナムを含む 農薬の総使用回数
ばれいしょ	そうか病 粉状そうか病	30～40kg	植付前	1回	全面土壌混和	6回以内 (種いも浸漬は1回以内、植付前 の土壌混和および植付時の植溝 散布は合計1回以内、植付後の 散布は4回以内)

3月14日 適用拡大
エスレル10

<ももの品種名別の適用を統合>

- ・作物名「もも」を追加する。
- ・作物名「もも（白鳳）」「もも（あかつき）」「もも（川中島白桃）」「もも（清水白桃）」を削除する。

作物名	使用目的	希釈倍数	10アール当り 使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	エテホンを含む 農薬の総使用回数
もも	熟期促進	4,000倍	200～300L	収穫予定の35日前以降 但し、収穫21日前まで	1回	立木全面散布	1回

<使用上の注意事項の変更・追加>

- Ⅱ) 7) (2) を変更し、Ⅱ) 7) (3) を追加する。
- Ⅱ) 一般的注意事項の他に以下のことに注意すること。
- 7) ももに使用する場合
- (2) 本剤処理による熟期促進効果は**1～6日であるので、収穫前日数を確保しつつ、適期に使用すること。**
- なお、収穫が早すぎたり、遅すぎたりすると品質が劣るので適期に収穫すること。**
- (3) 本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬効・薬害を十分確認してから使用すること。なお、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。**



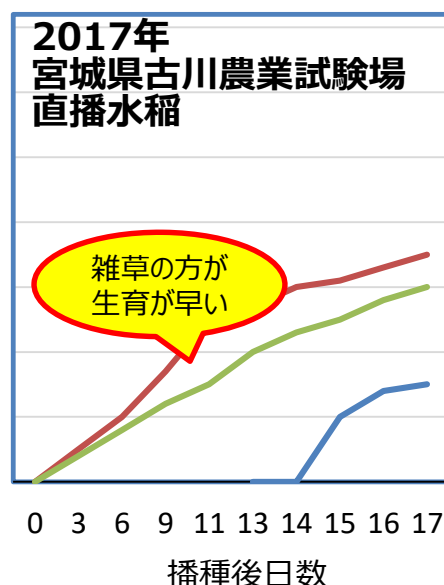
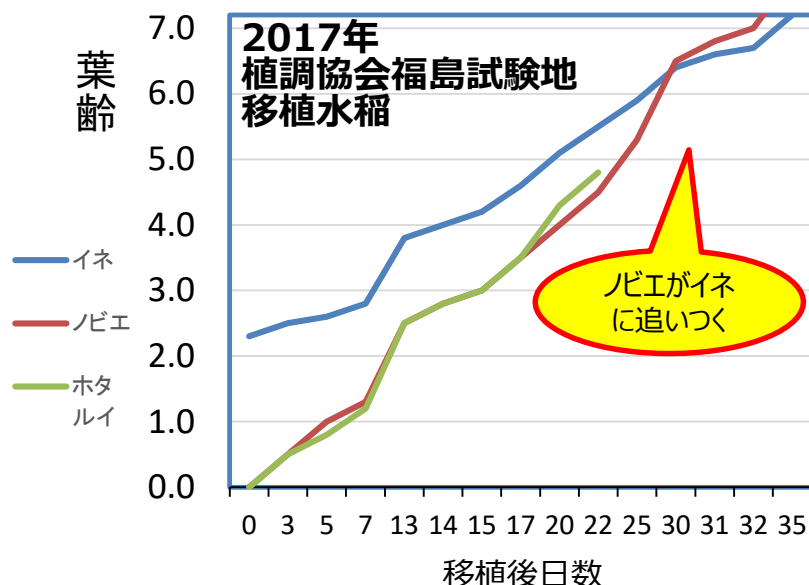
水田の雑草防除

水稲用除草剤は1950年頃から、フェノキシ系のホルモン型除草剤が利用されるようになりました。続いて土壌処理効果を利用した選択的な防除方法が実用化されました。

今日では正しく処理すれば、イネには無害で、おおそ全ての雑草を防除し、さらに環境への影響も問題とならない除草剤が開発されています。しかしながら、発生する雑草の形態、生態の違いから水稲用除草剤にも初期剤や一発剤、中後期剤など、種類がわかれています。これらを賢く利用するには、雑草の生態を理解することが重要となります。

ノビエやホタルイの発生消長

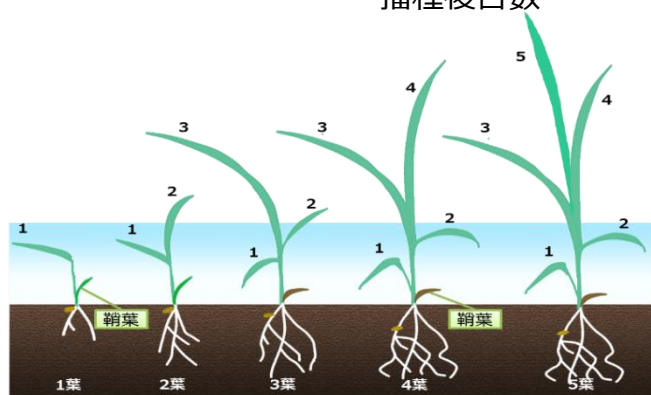
- ノビエやホタルイなどの水田の主要な雑草は生育が早く、特に直播栽培ではイネよりも生育が先行する。



ノビエ葉齢の数え方

水稲と異なり、鞘葉の次にすぐ本葉が抽出します。(不完全葉なし)

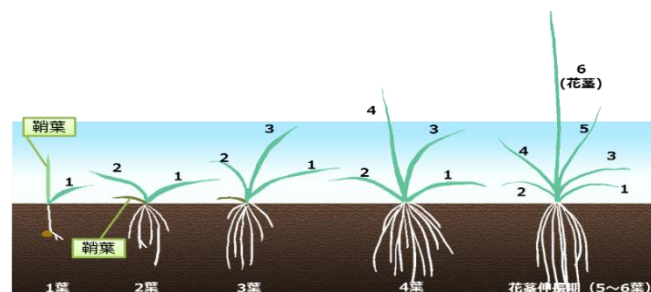
葉期は本葉より数え、伸長中の葉は伸長が完了した時点の長さ(予測)を1として小数で表します。



ホタルイ葉齢の数え方

種子からは最初に鞘葉が伸長し、続いて線形葉(本葉)が順次展開。4~6枚展開した後、花茎が伸長。

葉齢は鞘葉を数えず線形葉の葉数で示し、伸長中の葉は伸長が完了した時点の長さ(予測)を1として小数で表します。



ノビエ、ホタルイは初期の防除が重要！

オモダカ、クログワイの発消長

➤ オモダカ

根元から長い葉丙を出し、矢じり形の葉身を持つのが特長で、塊茎で繁殖し、繁殖力も強い。

草丈は30～60cmに至る多年生の難防除雑草で、種子と塊茎からの発生がある。また他の多年生雑草と異なり、分株をほぼ形成せず、根茎を生じてから塊茎を多く形成する。

発消長

移植後日数	オモダカ	イネ
22日	発生始	5.0葉期

2017年 植調協会古川研究センターJ圃場

発消長

移植後日数	オモダカ	イネ
8日	発生始	2.9葉期
19日	矢じり葉 1葉期	5.8葉期

2017年 植調研究所 牛久No17水田



➤ クログワイ

塊茎で繁殖し、池や沼、溝などに群生するが、最近は各地の水田にはびこり強害草として問題になっている。

細い針金状の茎が発生し、続いて中空の太い茎に変わる。発生深度は深く、また、発生期間も長い。

太い茎が伸びはじめると地下茎を伸ばしその先に新しい株ができて増える。

茎は分けつして株になり直立する。高さは40～70 cm。

秋に茎の先に細長い円柱形の淡緑褐色をした小穂をつけ、地下茎の先に塊茎をつくる。



発消長

移植後日数	クログワイ	イネ
22日	発生始	5.0葉期
25日	草丈10 cm	5.3葉期
29日	草丈15 cm	5.7葉期

2017年 植調古川研究センターJ圃場

オモダカ、クログワイが難防除雑草である理由

塊茎が5～25cm深の土中からも出芽し、休眠からの覚醒がばらつき、長期間にわたって発生する。



Point

- ・防除では発生密度を減らすことが重要
- ・完全防除には除草剤の連年施用が必要

オモダカ、クログワイの生態に合わせて除草剤を使用する！

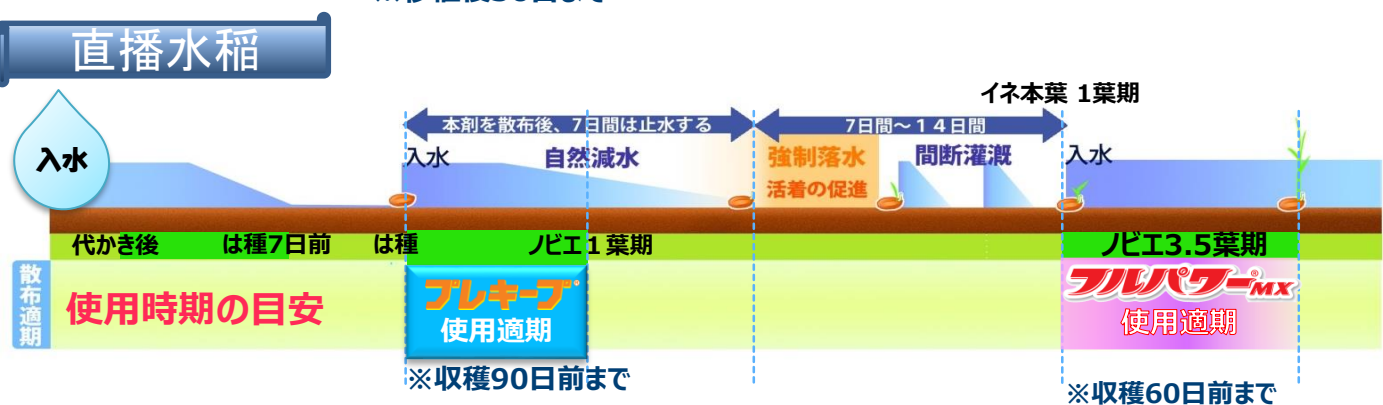


当社の提案する水田雑草の防除

★難防除雑草の多い圃場に提案する当社の体系防除。

水稲用除草剤のうち一発処理剤は、一度にあらゆる雑草を防除し、近年は3葉期以上のノビエにも有効な製品が主流となっています。使用時期が長い薬剤はノビエ以外の広葉雑草やクログワイ、オモダカなどの難防除雑草にも有効であることが望めます。

当社のフルパワー-MXも使用時期は3.5葉期までと長く、ノビエ以外の広葉雑草、難防除雑草にも有効です。初期剤との体系防除により、さらに除草効率を上げることができます。



Point

・フルパワー-MXはノビエの3葉期までに処理するのが賢い使い方

確実に難防除雑草を防除するには

初期剤にワンベスト、プレキープを処理することで、ノビエの発生が遅れる。



- 一発剤のフルパワー-MXが処理できるタイミングが長くなる。
- 後から発生するクログワイやオモダカにも効果を発揮できる。

- * ワンベスト、プレキープは、雑草の発生前に散布してください。
- * フルパワー-MXはノビエ3.5葉期までが使用時期です。
- * 薬剤散布後7日間は強制落水しないでください。



いまどきの防除

(病害虫の発生予察と薬剤による防除対策)

- 向こう1ヶ月の主要病害虫発生予報の発表はありませんでした。

弊社では、圃場の土壌を御送付頂き、その土壌中のセンチュウ量を測定し、防除計画の御参考にして頂く無料サービスを継続実施しております。



石原バイオサイエンス株式会社 本社 普及部

〒102-0071 東京都千代田区富士見2-10-2

TEL 03-6256-9170 FAX 03-3263-2078

ホームページ アドレス <http://ibj.iskweb.co.jp>



センチュウ検定
無料キャンペーン
実施中